

コンクリートと補強材の付着定着挙動と構成則の利用研究委員会

WG1 議事録

日 時：2010年1月29日（金）17:30～20:30

場 所：JCI 会議室

出席者：金久保幹事，飯塚，近藤，高瀬，八十島の各委員

資料

WG1-1-1：補強コンクリート部材の付着割裂性状に関する研究（その1～その6）

WG1-1-2：付着問題における基礎式

WG1-1-3：付着基礎式小史

WG1-1-4：軸方向力を受くる鉄筋コンクリート部材に於ける・・・（土木学会誌第19巻第3号）

WG1-1-5：第1回，第2回異形鉄筋シンポジウム（コンクリートライブラリー第2号，第14号）

議事

1. 前回全体委員会議事録の確認

前回議事録の確認を行い，WG1での検討内容を確認した。

2. 付着に関する文献の紹介

- ・ 資料 WG1-1-1 の付着割裂する場合の $\tau-s$ 関係の構築およびそれを用いた部材強度に関する検討の紹介が行われた。 $\tau-s$ 関係が軟化する場合（割裂する場合）の付着基礎式の適用（数値計算）およびその時の最大値（付着強度）を示したものと見ることができる。
- ・ 資料 WG1-1-4 の付着基礎式の適用に関する文献の紹介が行われた。昭和8年の文献であり，RC分野の付着問題に基礎微分方程式を適用した最初の論文であると考えられる。 $\tau-s$ 関係が比例関係として，種々の境界条件下での理論解が示されている。
- ・ 資料 WG1-1-5 の異形鉄筋の開発時期に行われた種々の付着実験の文献の紹介が行われた。資料は1962年および1965年であり，様々な節形状を持つ鉄筋の引抜き試験，両引き試験が紹介されている。圧縮引抜き試験の方が引張引抜き試験より付着応力が大きいことについて，圧縮引抜き試験の反力端面の摩擦の影響が大きいのではないかという議論があった。

3. 付着基礎式小史について

- ・ 急遽佐藤委員が欠席になったため，資料 WG1-1-3 の付着基礎式小史に関して資料を出席者で閲覧した。付着基礎式の展開および適用に関してよく整理が進んでおり，WG1の報告書の内容として取り込んでいくこととなった。

4. WG1の検討項目および報告書の内容について

WG1で取り扱う検討項目について，フリーディスカッションが行われた。また，検討項目がある程度固まった段階で報告書目次案を作成し，活動の目標としたい旨の提案が金久保幹事からあった。議論した検討項目は別紙の通り。次回WGで再度議論し，全体委員会に提案することとな

った。

5. 次回 WG

3 月中に WG を行い，その後全体委員会を行う。金久保幹事がメールにて日程調整する。